



成果指標				
成果指標	実施箇所÷予定箇所×100			
指標設定の考え方	参画と協働の郷づくりの拠点整備を行う。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	100	100	100	100
実績	100	100	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	例年、5～7件の事業申請があり、その全てに対応している。老朽化している施設も多く存在しており、適切に維持管理するための指導や指示も必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域自治活動の拠点施設として、集会所は必要不可欠である。老朽化等により改修が必要な集会所が多く存在している。限られた予算で効率的かつ効果的に事業実施を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	集会所整備事業と合わせ、制度の見直しを検討する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。